

2012年3月16日

「2012 Team APEV with モンスタースポーツ パイクスピーク EV チャレンジ」 記者発表会のご案内

電気自動車普及協議会は、この夏、新型のプロトタイプ EVレーシングカーで 世界記録にチャレンジします

平素大変お世話になっております。電気自動車普及協議会(APEV、会長:福武 総一郎)は、「パイクスピーク EV チャレンジ実行委員会」を組織し、今年7月アメリカ・コロラド州で開催されるパイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムに「Team APEV with モンスタースポーツ」として挑戦します。

目下、この自動車競技で6連覇中の田嶋 伸博が、昨年までのガソリンエンジン車から新型のプロトタイプ EVレーシングカーに乗り換えて、自らが持つコースレコードの更新を狙います。

さらに、単にEVで世界的に有名な自動車レースに参戦して勝つことだけを目指とするのではなく、「Team APEV with モンスタースポーツ」のプロジェクトとして、震災被災地復興支援、子ども達を対象とした環境教育プロジェクト、日本のシニアを元気にするためのプロジェクトなど5つの活動を実行いたします。

記者発表会は下記の日程で行います。今年、90回目を迎える歴史ある世界最高峰の自動車競技に、日本代表として電気自動車で挑む我々の挑戦に是非ご参加、ご支援を賜りたく、ご案内をお送りする次第です。

記

2012年3月27日(火)
15時(受付)/15時30分(開式)
東京都千代田区外神田 4-14-1
秋葉原クロスフィールド イベントスペース
アキバ・スクエア

【出席者】

野津 真生 様(国土交通省 関東運輸局

自動車技術安全部 部長

鈴木 泰信 様 (NTN 株式会社代表取締役会長)

福武 総一郎 (電気自動車普及協議会 会長)

田嶋 伸博 (同 代表幹事)

三菱重工業株式会社様 他、日本を代表する政財界の皆様 * 現在ご出席調整中



【記者発表内容】コンセプト、チーム体制、レース車両 他

こちらもお覧下さい…随時新しい情報を更新してまいります

実行委員会 Web サイト URL: <http://www.apev.jp/teamapev>

Facebook 日本語版 URL: <http://www.facebook.com/teamapev>

本プロジェクトが目指すもの

この度、電気自動車普及協議会(以下 APEV)の代表幹事である田嶋伸博が、自身で目下六連勝を果たしている「パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム」の自動車競技において、2012年7月、初めて電気自動車(以下 EV)での参戦を行うこととなりました。

現在、地球規模で問題となっている温暖化現象、また異常気象に伴う災害の頻発など、地球環境の悪化が深刻さの度合いを増していることは皆様も御承知のとおりです。

この問題に対する効果的な解決方法として、高性能な電気自動車の世界的な普及が挙げられており、国内外の取り組みが続けられております。

このたびの参戦では、日本の持つ最先端技術を結集して、従来の内燃機関車を超える性能のEVを開発いたします。アメリカ・ロッキー山脈に連なる世界の大舞台上、EVで勝利をつかむべくチャレンジすることで、世界中で多くの人々に共感と感動を与えたいと思います。

今回、「パイクスピーク EV チャレンジ実行委員会」では、単にEVで世界的に有名な自動車レースに参戦して勝つことだけを目標とするのではなく、「Team APEV with モンスタースポーツ」のプロジェクトとして、次の5つの活動を実行いたします。

- ① **パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム参加:** 日本の技術を結集して究極のEVを開発し、世界最高峰の舞台上で大出力のエンジンカーにチャレンジすることで、EVの優秀性を証明します。また、この活動から得られた技術でEVの普及を促進することこそが、このレース参加の最終目的となります。
- ② **環境プロジェクト:** EVでエンジン車に対してチャレンジをすることで、地球温暖化対策をアピールしながらEVの持つ可能性を立証します。特に今回エンジン車で6連覇したワールドチャンピオン自らがEVを開発し、自身のエンジンカーの世界記録に挑戦することで、EV時代の到来を世界中に強烈にアピールします。
- ③ **ジュニアプロジェクト:** 子どもたちに夢を届けると同時に、エンジンカーでは不可能なEVの素晴らしさや、車の楽しさを学んでもらえる機会を作ります。子どもが興味を持ちやすいような企画(ゲームなども検討)を充実させます。
- ④ **シニアプロジェクト:** 今年62歳になる田嶋伸博が、元気に世界に挑み続ける姿を伝えることをきっかけに、日本の60歳代以上の方々にも更に生きがいや元気、勇気を持ってもらうことを目的とします。還暦を過ぎた同世代の皆さんに夢と希望を与える各種の企画を実施して、元気な日本を取り戻します。
- ⑤ **被災地支援プロジェクト:** 東北地方の震災被災者の方々と一緒に世界一にチャレンジすることで、夢と自信を届けたいと考えています。復興に必要な「頑張る気持ち、助け合いや思いやり」などを一緒にのせてレースを走ることができる企画を提供します。

また被災地ならではの経験を活かした、安全で安心して暮らせるスマートハウス、スマートシティ作りを研究します。そして、その中で必要となる次世代型EVを、究極の競技車両を作った我々の最新のEV技術と融合させることで速やかに実現させていきます。

<パイクスピークEVチャレンジ実行委員会>

【実行委員会構成団体】

電気自動車普及協議会
株式会社タジマモーターコーポレーション

【実行委員長】

福武 総一郎 (電気自動車普及協議会 会長) ～株式会社ベネッセホールディングス 取締役会長 ～

【実行委員】 ※2012年3月12日現在

鈴木 泰信 (NTN 株式会社代表取締役会長)

田嶋 伸博 (電気自動車普及協議会 代表幹事)
～株式会社タジマモーターコーポレーション 代表取締役会長 兼 社長～

草加 浩平 (" 幹事) ～東京大学大学院工学系研究科 特任教授～

藤原 洋 (" 幹事) ～株式会社ナノオプトニクス・エナジー 代表取締役～

鈴木 高宏 (" アドバイザー) ～長崎県産業労働部政策監 EV&ITS 推進担当～

【事務局長】

椎木 衛 (電気自動車普及協議会 事務局長)

本件に関するお問い合わせ先:

パイクスピークEVチャレンジ実行委員会

【事務局員】

石倉 智之(株式会社タジマモーターコーポレーション)

TEL: 0538-66-0020 E-mail :pr@tajima-motor.com

田中 郁子(電気自動車普及協議会)

TEL :03-5325-3365 E-mail :tanaka@apev.jp

こちらをご覧ください …随時新しい情報を更新してまいります

実行委員会 Web サイト URL: <http://www.apev.jp/teamapev>

Facebook 日本語版 URL: <http://www.facebook.com/teamapev>

<参考資料>

パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムとは



アメリカ・コロラド州、パイクスピーク山の観光道路を舞台に開催される自動車競技パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム—通称 The Race to the Clouds (ザ・レース・トゥ・ザ・クラウドズ)—。第一回は 1916 年開催、以後戦争による中断などはあるながらも今年で 90 回目を数え、単一シリーズとしてはインディ 500 に次いで世界で 2 番目の歴史と伝統を誇る。

スタート地点は標高2862メートル、ここから富士山よりもはるかに高い4301メートルの山頂までの山岳道路約 20 キロを一気に駆け抜けタイムを競う。急な坂、山肌を縫う 156 ものカーブ、薄い空気、めまぐるしく変わる天候などにより、世界で最も過酷な自動車競技とも言われる。

現在のコースレコード(世界記録)は昨年田嶋伸博が記録した9分51秒278。高地を舞台に行なわれるため、優勝を争う車両は平地で 800~1000 馬力を発揮するモンスターマシン。この強大なパワーを受け止める車両づくりとドライビングテクニックが揃ってはじめてレースに勝つ可能性が生まれる。

90 回の歴史の中で、日本人が総合優勝を果たしたのは7回。いずれも優勝者は田嶋伸博。田嶋の初優勝は 1995 年。そして 2006 年から 2011 年まで 6 連覇中。今年 62 歳を迎える田嶋は今も世界で最も速い男としてパイクスピークに君臨している。



田嶋 伸博
(たじま のぶひろ)

1950年6月28日生
石川県出身／東京都在住

株式会社タジマモーターコーポレーション
代表取締役 会長兼社長兼CEO
株式会社アイアールディー
代表取締役会長
電気自動車普及協議会(APEV) 代表幹事
磐田新産業創出協議会 理事
JEVRA 日本電気自動車レース協会 理事
チームモンスター会長

田嶋 伸博 ヒルクライム戦績

パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム (アメリカ コロラド州)

■ 1988年	ショールームストックDiv. クラス3位	---
■ 1989年	アンリミテッドDiv.	DNF ---
■ 1990年	オープンラリーDiv.	DNS ---
■ 1991年	PPオープンDiv.	3位 12分34秒51
■ 1992年	アンリミテッドDiv.	クラス優勝 12分51秒63
■ 1993年	アンリミテッドDiv.	クラス優勝/総合2位 10分44秒22
■ 1994年	アンリミテッドDiv.	クラス2位/総合5位 10分51秒15
■ 1995年	アンリミテッドDiv.	総合優勝 7分53秒00※ 天候不順のためコース短縮
■ 1996年	アンリミテッドDiv.	クラス2位/総合2位 10分21秒88
■ 1997年	アンリミテッドDiv.	DNF ---
■ 1998年	アンリミテッドDiv.	クラス2位/総合2位 10分32秒57
■ 1999年	アンリミテッドDiv.	クラス2位/総合2位 10分37秒35
■ 2000年	PPオープンDiv.	DNF ---
■ 2001年	アンリミテッドDiv.	DNF ---
■ 2006年	アンリミテッドDiv.	総合優勝 7分38秒※ 天候不順のためコース短縮
■ 2007年	アンリミテッドDiv.	総合優勝 10分01秒408 世界新記録樹立
■ 2008年	アンリミテッドDiv.	総合優勝 10分18秒250
■ 2009年	アンリミテッドDiv.	総合優勝 10分15秒368
■ 2010年	アンリミテッドDiv.	総合優勝 10分11秒490
■ 2011年	アンリミテッドDiv.	総合優勝 9分51秒278 世界新記録樹立